

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック理論Ⅱ		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン試験の筆記試験に合格するための対策授業をする。</p> <p>・授業は講義形式で行い、エステティック機器の使用方法和効果、禁忌について学び、また肌タイプ別のアドバイスや肌トラブルの原因と改善方法を学習する</p>						
到達目標	<p>①AJESTHE認定フェイシャル・ボディエステティシャン試験の実施と合格させる。</p> <p>②エステティック機器の使用方法和効果、禁忌について理解し、実習で使用する。</p> <p>③肌トラブルの対処方法を理解する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	肌のタイプについて						
第2週	AJESTHE認定フェイシャル・ボディエステティシャン試験対策 エステティック機器の使用方法和効果、禁忌について						
第3週	AJESTHE認定フェイシャル・ボディエステティシャン試験対策 エステティック機器の使用方法和効果、禁忌について						
第4週	AJESTHE認定フェイシャル・ボディエステティシャン試験対策 エステティック機器の使用方法和効果、禁忌について						
第5週	AJESTHE認定フェイシャル・ボディエステティシャン試験対策 エステティック機器の使用方法和効果、禁忌について						
第6週	AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン試験の実施						
第7週	肌タイプ別アドバイス ノーマル肌						
第8週	肌タイプ別アドバイス 脂性肌						
第9週	肌タイプ別アドバイス 乾燥肌						
第10週	肌タイプ別アドバイス 乾燥脂性肌						
第11週	化粧品学 ブランドによるコンセプトの違い						
第12週	化粧品学 肌タイプに合った化粧品の選択						
第13週	栄養学 ビタミンについて						
第14週	栄養学 ミネラルについて						
第15週	美肌を保つための生活習慣						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験の結果(100%)</p>						
教科書 教材など	<p>・AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術</p> <p>・フェイシャルトリートメントのマニュアル</p> <p>・ボディトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック応用演習		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・エステティックで技術で必要とされる色々なエステティック機器を体験することにより、エステティックの奥深さや効果、可能性を体感する。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、お客様肌の悩みを伺い、お悩みに合わせた化粧品の選択をし、効果の違いを実感する。また化粧品ブランドによるコンセプトの違いや、効果効能の違いを体感する。</p>						
到達目標	<p>①いろいろなエステティック機器を体験しエステティックの効果や可能性を理解する。</p> <p>②肌の悩みに合わせた化粧品の選択をし、効果を理解する。</p> <p>③化粧品ブランドによるコンセプトの違いや、効果効能の違いを理解する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	G5						
第2週	低周波機器						
第3週	サクシオン(ボディパター)						
第4週	背中のブラシクレンジング、美白トリートメント						
第5週	フットのケア						
第6週	フェイシャルカウンセリング機器						
第7週	フェイシャル機器 パター						
第8週	フェイシャル機器 イオン導入						
第9週	フェイシャル 超音波 エクスフォリエーター						
第10週	フットのケア						
第11週	フェイシャルトリートメント 選択化粧品						
第12週	フェイシャルトリートメント 選択化粧品						
第13週	フェイシャルトリートメント 選択化粧品						
第14週	フェイシャルトリートメント 選択化粧品						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験を実施し実技試験の結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実技試験(80%)・出席状況(10%)・授業態度(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>・AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術</p> <p>・フェイシャルトリートメントのマニュアル</p> <p>・ボディトリートメントのマニュアル</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクアップ応用演習		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・メイク制作を中心とした授業を行う。テーマ別メイクを学びながら、普段使い慣れた個人教材だけでなく、共同教材や様々な素材を使用することで、表現の幅を広げる。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、メイク技術だけで、感情やイメージを表現する技法を学ぶ。またデザインを制作する過程の中で図書館へ出向き、書物から学び、関連する資料や辞書・写真集に触れることで、想像力を高め、制作につなげる為に図書館で研究する。相モデル実習授業中心</p>						
到達目標	<p>学生の感性や想像力を養うために校内コンテストや「LUXE BEAUTY ヘア&メイクフォトコンテスト2019」へ応募させ友人同士で切磋琢磨することで成長させることを目標にする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	校内コンテスト準備						
第2週	校内コンテスト準備						
第3週	校内コンテスト準備						
第4週	校内コンテスト準備						
第5週	テーマ別メイク・『フレッシュ』『キュート』						
第6週	テーマ別メイク・『エレガント』『クール』						
第7週	テーマ別メイク・和装メイク(浴衣の着付け)						
第8週	骨格・表情筋について、テーマ別メイク・『喜』『怒』『哀』『楽』						
第9週	テーマ別メイク・『喜』『怒』『哀』『楽』						
第10週	テーマ別メイク・『喜』『怒』『哀』『楽』						
第11週	テーマ別メイク・『喜』『怒』『哀』『楽』						
第12週	コンテスト応募作品練習 テーマ<伝統と革新>						
第13週	コンテスト応募作品撮影①						
第14週	コンテスト応募作品撮影②						
第15週	コンテスト応募作品エントリーシート準備						
評価方法	<p>定期試験は実施せずに、実習実技内容、コンテスト受賞結果、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実習実技内容・コンテスト受賞結果(90%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	株式会社三善の教材						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ネイル応用演習		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	石井 貴子	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・7月のアジアネイルフェスティバルに行くまでに、いろいろなネイル材料に触れて知ってもらい、自分で材料を選んで使える知識を持てるようにしていきます。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、相モデルを中心に授業を進め、ネイル専攻以外の学生達が前期の授業中で少しでも楽しみながら実践・実用的なネイル技術を学ぶ。</p>						
到達目標	<p>・学んだ技術を組み合わせ、ネイルチップを制作し、ネイル教室に飾ります。1年生が見たときに、「専攻外のネイル授業でも、ここまでの事が出来るようになるんだ」と、思えるような技術を身に付けさせ。</p>						
授業計画・内容							
第1週	アクリル 長さ出し説明、デモ、ミクスチュア玉とり・アルミ四角・紙の上での練習						
第2週	アクリル ミクスチュア玉とり・アルミ四角・紙の上での練習、チップオーバーレイデモ、ハンドで練習						
第3週	アクリル エンボス(丸・涙型・ハート・花)						
第4週	アクリル エンボス(うさぎ・リボン) 立体アート(5枚花・バラ)						
第5週	フットジェルネイル相モデル練習(ワンカラー・1本のみラメ仕上げ) <前半組>						
第6週	フットジェルネイル相モデル練習(ワンカラー・1本のみラメ仕上げ) <後半組>						
第7週	ジェルアート						
第8週	ジェルアート						
第9週	ジェルアート						
第10週	ジェルアート						
第11週	フットジェルネイル(自分の足に自由なデザインでジェルを施す)						
第12週	チップ制作(デザインおこし)						
第13週	チップ制作						
第14週	チップ制作						
第15週	ネイルケア相モデル練習、1分間スピーチ						
評価方法	<p>・学期末試験は実施せずに出席状況、授業態度、チップ制作の仕上がり及び1分間スピーチを考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:出席状況(60%)・授業態度(20%)・チップ制作(10%)・1分間スピーチ(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>・教材は学校共有教材。 ・ジェル筆5本組セットのみ配布。</p>						
実務経験	サロンワーク12年 (有限会社 うるわし) JNA認定講師10年、OPIJAPAN認定エデュケーター			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	作品制作		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	木村 裕美/時實 好恵	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・自由な発想とテクニックで、ヘアやメイクでイメージを表現する技術を中心に学び、撮影やショーで「伝える」ための作品を制作する。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、校外実習や、プロスタイリストによる特別授業を設け、学生だけでは難しいよりクオリティの高い作品を制作する。同時に、グループでアート作品を制作することで社会に出た際に必要となる協調性を養う。</p>						
到達目標	<p>・学生達が大原美術館やJ's hairから得た発想や感性を生かした作品を制作し残す。また今まで学んできたことをファッションショーで発揮できるように指導する。</p>						
第1週	模写メイクデザイン決定						
第2週	模写メイク撮影①						
第3週	模写メイク撮影②						
第4週	絵画からのインスピレーション①(大原美術館見学)						
第5週	絵画からのインスピレーション②レポート提出・デザイン画作成						
第6週	絵画からのインスピレーション③制作・撮影						
第7週	絵画からのインスピレーション④制作・撮影						
第8週	J's hairイベント準備						
第9週	J's hairイベント準備						
第10週	J's hairイベント準備						
第11週	OBMコレクション準備						
第12週	OBMコレクション準備						
第13週	OBMコレクション準備						
第14週	OBMコレクション準備						
第15週	OBMコレクション準備						
評価方法	<p>・定期試験は実施せずに、実習実技内容や協調性と出席状況や授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実習実技内容や協調性(90%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	特になし						
実務経験	木村 裕美:Fika beauty&relax オーナー歴1年			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	時實 好恵	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>学生たちが将来就業するビューティ業界においては、お客様の肌や身体に直接触れて施術を行うため、適切な衛生管理が求められる。お客さまとサービス担当者の健康を守るための適切な衛生措置や消毒方法について学ぶ。</p> <p>授業は講義形式で行う。</p>						
到達目標	<p>サロンにおける衛生管理を適切かつ徹底して行うことができる知識や技能を知り、お客さまの信頼を得ることができるサービス担当者の基本を身につける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	衛生管理の授業概要、受講上の注意						
第2週	衛生管理の考え方 エステティックサロンにおける衛生管理の対象						
第3週	エステティックサロンにおける衛生基準						
第4週	血液、体液の処理方法 感染経路						
第5週	病原微生物						
第6週	正しい手洗いの方法 器具、備品の洗浄消毒の手順						
第7週	消毒方法						
第8週	感染症の法規制						
第9週	ネイルサロンにおける衛生管理の対象						
第10週	ネイルサロンにおける衛生基準						
第11週	揮発性溶剤に関する知識 リスクアセスメント 消防法						
第12週	薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保などに関する法律)						
第13週	事例解説①(揮発性溶剤に関する事例解説)						
第14週	事例解説②(化粧品に関する事例解説)						
第15週	事例解説③(使用器具などの衛生措置に関する事例解説)						
評価方法	<p>定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%) 授業態度や出席(20%)</p>						
教科書 教材など	「エステティックの衛生基準」、「ネイルサロン衛生管理マニュアル」、プリント						
実務経験	なし			実務経験のある教員による 授業科目			

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	イメージメイクアップ			コース名	トータルビューティ(メイク)		
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・通年	時間数	180 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・メイクアップの基礎知識・ベーシックな技術・アイテムの知識を基盤に感性、センス、人間性を磨いていく。またお客様に満足していただける接客ができるよう、カウンセリング力もしっかり学んでいく。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、デモンストレーションや講義形式を交えJMA1級に向けて授業展開を行っていくが、最終的には授業のまとめとして卒業制作をさせる。</p>						
到達目標	<p>・メイクアップ技術で必要な顔の分析とリクエストを踏まえたメイクアップ強調があるイメージフルメイクとJMA1級検定合格を目指す。</p>						
第1週	JMA2, 3級テキストより 個性の分析力・個性の分析 形	第16週	イメージメイク「フレッシュ」				
第2週	肌色のイメージ(形)子供の顔と大人の顔	第17週	イメージメイク「エレガント」				
第3週	縦バランスと横バランス	第18週	イメージメイク「エレガント」				
第4週	パーツのバランスと印象の変化	第19週	イメージメイク「エレガント」				
第5週	フェミニン顔とマニッシュ顔の違い	第20週	イメージメイク「クール」				
第6週	個性の分析(色)肌色のイメージ	第21週	イメージメイク「クール」				
第7週	イメージを決める要素 色、質感の違い	第22週	カウンセリング & スキンケア & イメージメイク				
第8週	形を変える基礎テクニック	第23週	カウンセリング & スキンケア & イメージメイク				
第9週	ポイントメイク別、形とイメージ	第24週	カウンセリング & スキンケア & イメージメイク				
第10週	ポイントメイク別、形とイメージ	第25週	カウンセリング & スキンケア & イメージメイク				
第11週	メイクアップの強弱と印象	第26週	カウンセリング & スキンケア & イメージメイク				
第12週	実技テスト	第27週	卒業制作				
第13週	イメージメイク「キュート」	第28週	卒業制作				
第14週	イメージメイク「キュート」	第29週	卒業制作				
第15週	イメージメイク「フレッシュ」	第30週	卒業制作				
評価方法	<p>・定期試験を実施し、前期・後期実技試験の結果と小テスト、授業態度や身だしなみ、出席状況及び提出物や小テストを考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 実技試験と小テスト(60%)・授業態度、出席や身だしなみ(30%)・提出物(10%)</p>						
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 3級2級						
実務経験	株式会社 PCパンドーラ(メイク担当) 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクセラピー		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・通年	時間数	105 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>授業で行うメイクセラピーとは、心理カウンセリングと色彩学や印象分析の理論を取り入れたメイクアップ技法で、「なりたい自分」になるために印象を変えるメイクアップを提供できるようにさせる。</p> <p>授業は実技演習で行い、メイクセラピーを学ぶ事で、メイクをする事の本来の意味や目的を再確認させ、自己中心ではなく他者とのコミュニケーションツールとして活用できるように学習する。</p>						
到達目標	<p>①一般社団法人メイクセラピストジャパン主催、メイクセラピー検定3級。</p> <p>②検定取得以外に、メイクセラピーがクライアントに対して実際行えるまでの技術を身につける。(2級や1級の実 技試験内容)メイクセラピーを学ぶ事で、メイクをする事の本来の意味や目的を再確認させ、自己中心ではなく他者とのコミュニケーションツールとして活用できるようにさせる。</p>						
授業計画・内容							
第1週	メイクセラピー概要・メイクセラピーの需要と必要性	第16週	カウンセリング実習①				
第2週	デモンストレーション	第17週	カウンセリング実習②				
第3週	カウンセリング概論①	第18週	カウンセリング実習③				
第4週	顔と心と化粧の関係	第19週	カウンセリング実習④				
第5週	スキンケア概論	第20週	3級筆記試験対策				
第6週	メイクアップ概論(パーツバランス)	第21週	ケースヒストリー①				
第7週	メイク実習(パーツバランス)	第22週	3級筆記試験対策				
第8週	メイクアップ概論(色彩)	第23週	ケースヒストリー②				
第9週	メイク実習(パーソナルカラー)	第24週	3級筆記試験対策				
第10週	メイクアップ概論(質感)	第25週	3級筆記試験				
第11週	模擬テスト(過去問題)	第26週	論述問題対策①				
第12週	メイクセラピー的心理学	第27週	論述問題対策②				
第13週	人間関係論	第28週	1級メイク実習				
第14週	カウンセリング概論②	第29週	1級メイク実習				
第15週	メイク実習	第30週	1級模擬試験				
評価方法	<p>メイクセラピー検定3級取得を半単位とする。その他、授業終了時に毎回行う確認テストで技術を量る。</p> <p>その他、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 検定取得(50%)、確認テスト(40%)授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>メイクセラピー入門 3級対策 日本メイクアップ技術検定試験対策テキスト1級</p>						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビューティアドバイザー演習		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・通年	時間数	135 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・メイクアップの基本の知識、技術を踏まえたうえで、メイクアップ接客マナー、メイクアップカウンセリングスキル、メイクアップアドバイススキルを養い、真のビューティアドバイザーを目指す。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、メイクアップアドバイザー資格認定に向けて指導し、また講義形式により接客マナーやカウンセリングの重要性を認識させる。</p>						
到達目標	<p>お出迎えからお見送りまで一貫して、サービスを提供する姿勢を崩さず、接客対応ができるようになる。メーカーごとにトレーニングされることが違うので、就職後にどのメーカーに就いても使える基礎技術や化粧品成分、美容業界特有の接客マナーや気遣いを中心に指導する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	メイク接客の心得・メイク接客サービスの流れ	第16週	肌タイプ・マイクロスコープ、水分計・肌悩み別スキンケア方法				
第2週	メイク接客マナー	第17週	メイクアップアドバイス				
第3週	お辞儀・声の印象・言葉遣い・その他のマナー	第18週	メイクアップアドバイス				
第4週	メイクアップカウンセリング	第19週	スピードメイクアップのためのテクニック				
第5週	カウンセリングの目的・アクティブリスニング	第20週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料) ①				
第6週	ほめるコミュニケーション・カウンセリング手順	第21週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料) ②				
第7週	カウンセリング実習①	第22週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料) ③				
第8週	骨格	第23週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料) ④				
第9週	カウンセリング実習②	第24週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料) ⑤				
第10週	メイクアップハーモニー	第25週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料) ⑥				
第11週	カウンセリング実習③	第26週	原料と基礎知識(UVケア化粧品・ベースメイクアップ化粧品)				
第12週	カウンセリング実習④	第27週	原料と基礎知識(着色剤・ポイントメイクアップ化粧品)				
第13週	カウンセリング実習⑤	第28週	原料と基礎知識(ボディケア・ヘアケア化粧品)				
第14週	カウンセリング実習⑥	第29週	フレグランス・その他の知識・メイクの種類と技術				
第15週	確認テスト	第30週	まとめ				
評価方法	<p>JMA主催 シニアメイクアップアドバイザー資格認証受講を定期テストとする。</p> <p>その他、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 定期テスト(シニアメイクアップアドバイザー資格認証講習受講)(90%)、授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	一般社団法人JMA シニアメイクアップアドバイザー資格認証テキスト						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクアップ集中演習		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>一般社団法人JMA主催メイクアップシニアアドバイザー検定取得に向けて行っているビューティアドバイザー演習への導入部となる。</p> <p>授業方法は、講義形式を中心とし、理解した後デモンストレーションの展示で大枠のイメージを掴み、相モデルによる反復実習で実力をつける。</p>						
到達目標	<p>お出迎えからお見送りまで一貫して、サービスを提供する姿勢を崩さず、接客対応ができるようになる。</p> <p>カウンセリング力を高め、就職後の即戦力となるスキルがマスターできたか。</p>						
授業計画・内容							
第1週	メイク接客の流れ①(メイク接客マナー・電話対応・心遣い)						
第2週	メイク接客の流れ②(クレーム処理・褒めるコミュニケーション)						
第3週	顔の成り立ち(骨格・筋肉・皮膚)顔分析(ゴールデンプロポーション)						
第4週	顔型別メイク①(ゴールデンプロポーション)						
第5週	顔型別メイク②(ひし形)						
第6週	顔型別メイク③(ベース型)						
第7週	顔型別メイク④(面長型)						
第8週	顔型別メイク⑤(丸型)						
第9週	顔型別メイク・肌色の構成						
第10週	化粧品学(化粧品の肌への働き)①						
第11週	化粧品学(化粧品の肌への働き)②						
第12週	化粧品学(化粧品の肌への働き)③						
第13週	化粧品概論(フェイシャル化粧品・ボディ化粧品・メイクアップ化粧品・着色剤・フレグランス)						
第14週	肌タイプ(乾燥肌・普通肌・脂性肌・混合肌)肌悩み別スキンケア法						
第15週	メイクの種類と技術						
評価方法	<p>定期試験は実施せずに、毎授業時間終了後に提出される課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 毎時間の課題(90%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	日本化粧品検定2級3級対策テキストより作成したプリント						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	トラディショナルメイクアップ		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・後期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・化粧は時代を映す鏡と言われるほど、化粧は時代背景とともに移りゆく。過去に学んだ歴史に化粧を照らし合わせ、女性の美に対する意識や変化を、西洋化粧が一般的に行われるようになる現代までを時代を追いながら学ぶ。</p> <p>・授業は講義形式を中心に時代背景や和・西洋メイクの歴史の理解を深め、また代表となる時代のテーマメイクを相モデルで実習を行う。</p>						
到達目標	<p>・美容に携わる者として、時代背景とともに美の遍歴を辿りながら学び、未来の美についても考え、最終的にはデザインを制作する。また化粧の歴史を学び、和装メイク等の日本伝統文化を後世に伝えることを目標にする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	時代年表、化粧の起源						
第2週	魔除け、威嚇、カムフラージュ メイク実習						
第3週	江戸時代～明治時代 理論						
第4週	和装メイク実習						
第5週	歌舞伎メイク実習						
第6週	大正時代～昭和初期(戦前) 理論						
第7週	モダンガールメイク実習						
第8週	昭和中期～戦後 理論						
第9週	ヘップバーンメイク実習						
第10週	ツイギーメイク実習						
第11週	昭和50年代～60年代、平成 理論						
第12週	昭和50年代～61年代、平成 メイク実習①						
第13週	昭和50年代～62年代、平成 メイク実習②						
第14週	昭和50年代～63年代、平成 メイク実習③						
第15週	未来創造 実習						
評価方法	<p>定期試験と実習実技内容、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(80%)・実習技術内容(10%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>・教材は学校共有教材。講師作成プリント。</p>						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ヘアスタイリング		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	白神 健一	学年・学期	2年・通年	時間数	75 時間	必須・選択	必須
授業概要 授業方法	<p>・2年次より新たな授業としてヘアスタイリングが始まる。 ・メイク技術も大切だが、現代における美しい女性像の中にはヘアスタイルとメイクのバランスがとても大切であるという認識が広がっている。 ・授業方法は実技演習を中心にいき、前期ではスタイリングの基礎技術と知識(編み込技術・アイロンの使い方・スタイリング剤の種類など)を勉強し、後期ではウイッグにてオリジナルヘアスタイルの作成を行う。</p>						
到達目標	<p>・ 日常必要なアップスタイルをベースに編み込みやカーラー巻、アイロンを使用しヘアアレンジを目的とする。 ・現場で困らないために、まとめ髪やアレンジスタイルなど、幅広い技術を習得する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	・基礎技術習得① ・表編み、裏編み、フィッシュボーンなど		第16週	・応用技術習得 ・逆毛の立て方、ピンの打ち方			
第2週	・基礎技術習得② ・三つ編み込、表編み込、裏編み込		第17週	・アップスタイル作成 ・シニョン技術を習得①			
第3週	・基礎技術習得③ ・片編み込み、表編み込、裏編み込		第18週	・アップスタイル作成 ・シニョン技術を習得②			
第4週	・アイロンの使い方 ・ローラーの巻き方		第19週	・アップスタイル作成 ・夜会巻技術を習得①			
第5週	・アイロンやローラーを使用した仕込み技術①		第20週	・アップスタイル作成 ・夜会巻技術を習得②			
第6週	・アイロンやローラーを使用した仕込み技術②		第21週	・アップスタイル作成 ・ブライダルスタイル技術を習得①			
第7週	・編み込みアレンジ① ・編み込みを駆使したハーフアップスタイル①		第22週	・アップスタイル作成 ・ブライダルスタイル技術を習得②			
第8週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したハーフアップスタイル②		第23週	・アップスタイル作成 ・ギブソンタックスタイル技術を習得①			
第9週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル①		第24週	・アップスタイル作成 ・ギブソンタックスタイル技術を習得②			
第10週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル②		第25週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・シニョンスタイル			
第11週	・編み込み等のほぐし方やバランスの見極め ・学生の感性を磨く		第26週	・オリジナルスタイルを作成 ・夜会巻スタイル			
第12週	・アイロンやローラー技術の復習		第27週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・ブライダルスタイル			
第13週	・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル①		第28週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・ギブソンタックスタイル			
第14週	・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル②		第29週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・後期試験に向けて作品練習(60分)			
第15週	・前期試験(編み込み技術を駆使したスタイル) ・テーマは「自由」試験時間は40分		第30週	・後期試験(編み込やローラー等を使用する事) ・テーマは「自由」仕込み含めて試験時間は60分			
評価方法	<p>・定期試験を実施し技術課題と授業態度や出席状況を考慮し成績を評価する。 ※評価目安:技術課題(80)%・授業態度や出席(20)%</p>						
教科書 教材など	<p>・プロジェクター(パワーポイント使用) ・出版社:新美容出版等(美容雑誌)。書名:#かねこアレンジ/SHINBIYO等の美容雑誌</p>						
実務経験	美容師経歴6年			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	POP		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	岩崎 孝子	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・お店に役立つ人材としてPOPを描ける事も必要であり、そのためにフェルトペン(油性マーカー・水性マーカー)を使用し、プライスカード、ショーカード、イラストなど作成にバランス、センス、スピード良く描けるように学ぶ授業である。</p> <p>・授業は講義形式で講師作成プリントや資料を参考に授業を進め、丸カラーペンの使用方法の基礎から応用までを教え、実際に学生一人ひとりに作成させ成長度を確認し学習していく。</p>						
到達目標	<p>・色彩も兼ねてPOP(プライスカード、ショーカードなど)作成に取り組み、作品が美的センス良く、仕上げられようアドバイスし就職時に役立つように理解度を深める。</p>						
授業計画・内容							
第1週	POPについて、丸マーカーの基礎						
第2週	丸マーカー 数字						
第3週	" カタカナ、英文字						
第4週	" ひらがな、漢字						
第5週	イラストレーション						
第6週	平面から立体						
第7週	丸マーカー 名前						
第8週	角マーカー 数字、カタカナ						
第9週	" 英文字、色彩						
第10週	" ひらがな						
第11週	" 漢字						
第12週	イリュージョン						
第13週	ぬり絵制作						
第14週	プライスカード、ショーカード						
第15週	各々1枚に仕上げる						
評価方法	<p>・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安:POPの作成能力度(55%)・成長度や提出物(25%)・授業態度や出席(20%)</p>						
教科書 教材など	<p>POP広告クリエイター技能試験ガイド POPレタリング&デザイン①②③ 実戦POPハンドブック カラーマーカー</p>						
実務経験	講師 38年			実務経験のある教員による 授業科目			

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロン経営学		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	時實 好恵	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業方法	メイクアップ、エステティック、ネイルなどのサービス提供者として店舗を運営をしていくにあたり、「運営・管理・教育」に関することを学ぶ。また、仕事に従事し、サロンを運営する一員としての自覚を養う。授業は講義形式で行う。						
到達目標	経営者でなくとも、ビューティ業界の一員としてお客さまが安心して任せられるサロン作りの一翼を担うスタッフとしての経営意識をもって仕事に取り組むことができることを目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	サロン経営学の授業概要、受講上の注意						
第2週	サロン経営とは サロンを取り巻く環境						
第3週	サロン開設①(サロンコンセプト)						
第4週	サロン開設②(マーケティング、競合分析)						
第5週	サロン開設③(サロンメニュー作り)						
第6週	サロン開設④(広告、SNS)						
第7週	サロン開設⑤(資金、書類)						
第8週	サロンの運営と管理①(就業規則、スタッフマネジメント)						
第9週	サロンの運営と管理②(トレーニング計画、教育)						
第10週	サロンの運営と管理③(顧客マネジメント、クレーム管理)						
第11週	サロンの運営と管理④(リピートする仕組み作り、キャンペーンの作り方)						
第12週	サロンの運営と管理⑤(資産管理、売り上げ管理)						
第13週	法令遵守(コンプライアンス)						
第14週	社会人としての心構え①(学生と社会人の違い、入社から退社までの基本ルール)						
第15週	社会人としての心構え②(職場の人間関係、注意・忠告の受け方や仕方)						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(60%)・課題提出(20%)授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	プリント						
実務経験	なし			実務経験のある教員による 授業科目			

2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	就職ゼミ		コース名	トータルビューティ(メイク)			
担当教員	時實 好恵	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	就職活動に必要な知識(筆記対策、面接対策など)を学ぶ。また、授業時間外に就職に関するガイダンス・企業説明化等を実施し、就職活動に関する情報を提供する。 授業は講義形式・グループワークを組み合わせで行う。就職活動の進捗に応じて個別の面接練習を行う。						
到達目標	就職活動にあたって必要な知識を身につけ、就業先を決定できるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	グループワーク						
第2週	グループワーク						
第3週	SPI試験練習①(割合、比)						
第4週	SPI試験練習②(損益算)						
第5週	SPI試験練習③(確率)						
第6週	SPI試験模擬練習(言語分野)						
第7週	SPI試験模擬練習(非言語分野)						
第8週	SPI試験模擬練習(性格適性分野)						
第9週	グループディスカッション						
第10週	グループディスカッション						
第11週	一般教養①(同音異義語、二語の関係、計算問題、割合、年齢計算)						
第12週	一般教養②(同音異義語、二語の関係、計算問題、割合、確率)						
第13週	一般教養③(同音異義語、二語の関係、計算問題、割合、場合の数)						
第14週	一般教養④(同音異義語、熟語の成り立ち、計算問題、割合、清算)						
第15週	一般教養⑤(同音異義語、熟語の成り立ち、計算問題、割合、仕事算)						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%) 授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	プリント						
実務経験	なし			実務経験のある教員による 授業科目			